観光庁スタート こう思う こう望む

(順不同)

旅行業界の発展の契機に

島﨑有平・全国旅行業協会専務理事

観光庁創設、おめでとうございます。我々、旅行業界にとりましても長年の悲願であった観光庁が設置されますことは本当に喜ばしい限りです。同庁の創設には、当協会の二階会長が長く尽力されてきたところであり、当協会としても微力ながらご協力させていただきました。これにより、観光立国の実現に向けての強力な推進組織ができたため、旅行業界としても今後の発展の契機にしていく必要があると思われます。二階会長が言われているように、観光庁が我々に何をしてくれるのかではなくて、我々が観光庁に対しいかに協力していけるのかを真剣に検討していきたいと考えています。

MICE産業の振興に期待

白田眞一・日本コンベンション事業協会会長

戦後二度にわたる「観光局」の廃止から、悲願の観光庁設立がなされて、我々コンベンション・MICE業界は大きな期待をしています。世界に開かれた観光大国を目指すには、諸外国に対する顔となる「観光庁」設立は大変に意義深く、その存在は大きいと思います。観光を通じた国際会議・文化・スポーツ等の交流を促進することは、日本の国際的なプレゼンスやアジアにおけるリーダーシップを発揮する大きな手段と考えます。我々が関わるコンベンション等のMICE分野では、国際会議、企業ミーティング、インセンティブ、展示会、イベントの誘致促進、外国人観光客の来訪促進に大きく寄与すべく活動を続けております。観光庁が総合的かつ計画的に講ずべき施策や国際競争力、人材の育成といった施策や環境整備し、諸外国へ強くアピールするに相応しい政策を期待してやみません。MICE業界は、観光庁と連携しさらなる国際競争力をつけると同時に、国際相互理解をするに相応しい活動を目指したいと思います。

強固たるリーダーシップで

安達要吉・日本海外ツアーオペレーター協会会長

観光業界の長年の悲願でもある「観光庁」の発足、心よりお祝い申し上げるとともに、政官民ご関係者各位の長年にわたるご努力とご尽力に対しまして、改めて心から敬意を表したいと存じます。弊会会員はその業態の特徴上、今後も引き続き日本人海外旅行客の期待および信頼にこたえるべく、現地での安全管理・法令順守の徹底と強化を図り、旅行商品の品質向上に努めて参ります。「観光立国の実現」に向けては、インバウンドと同様にアウトバウンドを含めた双方向で観光産業を推進し、日本のみならず海外の旅行業関係者の発展・強固な関係を構築することが必要不可欠と考えます。観光庁には日本の旅行業界の代表として、観光業界が一丸となるよう、強固たるリーダーシップをもって業界を取りまとめて下さることを期待しております。弊会も観光業界のその一員として、関係の皆様とともに観光立国の実現に向け、「協働」して参ります。

夢持てる将来ビジョン期待

三橋滋子・日本添乗サービス協会専務理事

待望の「観光庁」発足までの長い道のり、関係各位のご尽力にまず心より感謝申しあげます。多省庁にまたがる観光関連の政策が一本化され国民にも窓口が解りやすくなり、また対外的にも「観光庁」が相手国の窓口となり効率的に交渉を行い国際会議・イベント等を積極的に誘致できる土壌が整備されるよう願っています。新たに生まれ変わる「観光産業課」は観光産業を営む者の連携により観光全体の振興実現を目指す、とのこと。今こそ観光産業に身を置く人達が夢の持てる「将来ビジョン」を官民一体となって描けることを期待しています。

関係者の苦労が結実した

中村徹・日本観光協会会長

いよいよ「観光庁」の発足、喜びに堪えません。昭和38年の観光基本法の制定当時から観光庁は夢でした。時の流れだけでなく、関係者のご苦労がこうして結実したことに感謝と敬意を表します。観光の需要性について政府が認知し、観光政策の確立と実施を約束した象徴が観光庁の設立です。ただ、観光振興は行政の力だけではできません。また、民間の力だけでもだめです。行政と産業界、市民の力が結集されるとともに、行動することが肝要です。その原点となり中核となるものとして観光庁への期待は大です。特に地域経済へ貢献するためには、この構図は不可欠です。観光庁、ぜひとも頑張って下さい。**(地域伝統芸能活用センター会長)**

庁のリーダーシップに期待

佐久間進・日本観光旅館連盟会長

観光業界の念願であった観光庁の新設は画期的であり、関係者のご努力に感謝申し上げます。特に、観光立国推進基本計画に掲げる、国民の年間宿泊数を4泊、国内旅行消費額を30兆円に、訪日外客数を1千万人にするなどの5つの目標について、観光庁を中心に政府が一丸となってその実現を図っていく体制が整備されたことは誠に心強い限りです。21世紀はまさに観光の時代、観光立国の実現に向けてその底辺を支えていかなければならない宿泊業界としては、これまで培ってきたノウハウや伝統的な良い部分を残しながら、新しい工夫や試みを積極的に取り入れていきたいと考えており、観光庁の新政策とリーダーシップを大いに期待しています。

観光立国の早期実現期待

中村裕・日本ホテル協会会長

観光庁の発足を心よりお祝い申しあげます。訪日外国人や邦人国内旅行者の受け皿として中核的役割を果たしている私どもホテル業界にとって、観光庁の発足は、観光が国の重要施策として認識された証と考え、大いに歓迎するものであります。観光は各種産業や社会との関わりが深い極めて裾野が広い総合産業です。観光庁という新たな組織の発足を機に、関係の省庁、自治体、業界、産業等がより一層有機的に結合され、インバウンドをはじめとする魅力的な観光施策の構築による観光立国の早期実現を期待するものであります。当協会といたしましても微力ながらできる限りのご協力をさせていただきたいと考えています。

組織の強化を大いに歓迎

金井耿・日本旅行業協会会長

観光庁の発足を心から嬉しく思います。観光が国の重要な政策とされ、その組織が「庁」という形で強化されたことは、大いに歓迎すべきことです。各省庁の関連諸施策を大きな目標の下に調整し、強力に推進するとともに、地方自治体や民間との連携強化など、観光立国の推進に充分な機能を発揮していただけるものと期待します。当協会は、観光庁の設立に民間の立場から、観光庁と協働し、観光立国の実現に力を尽します。景気に不透明感が広がりつつある昨今ですが、「旅の力」がいきいきと発揮されるよう、訪日外国人旅行に加え、日本人の国内旅行・海外旅行の需要喚起にも観光庁の強力なご指導、ご支援を期待いたします。

足元から観光の魅力作りを

佐藤信幸・全国旅館生活衛生同業組合連合会会長

業界の悲願であった観光庁の設立にお祝いを申し上げます。我が国観光行政は、従来国交省を中心に行われてきましたが、その裾野は広範囲にわたり、国交省のほかにも厚労省、農水省、環境省、法務省、中小企業庁等の多分野に及び、縦割り行政の弊害もないとは言えない状況でありました。私達が喜びとすることは、そのような他分野にまたがる行政を観光庁を中心に行える基盤ができたと言えることだと思います。ただし一つの庁ができたからといって、後は自動的に進むというものでないことも肝に銘じて、まずは足元からいかに魅力ある観光地作りをしていくかが重要であると考えます。観光庁の行政に大いに期待するとともに、業界の一人ひとりが観光立国実現に努力することを期待するものであります。**(読売旅行協定旅館ホテル連盟会長)**

今こそ経営体質の強化を

小原健史・全国旅館生活衛生同業組合連合会特別顧問

観光庁の創設を心からお慶び申し上げますとともにご尽力頂いた関係各位に深甚なる敬意を表します。全旅連青年部時代から約四半世紀にわたり、旅館業や観光産業の発展を願い様々な活動を行ってきた者として感慨深いものがあります。やっと政治や行政が観光の重要性を「観光庁」という形で示して頂いたものの、我々旅館ホテル業界の統合は遅れており、個々の経営状況は決して強固なものとは言えません。今こそ全国各地の観光地や温泉地の活性化と各事業体の経営体質の強化を図ることが必要です。私も観光の最先端の現場から「観光立国」を実現すべく一生を捧げる所存です。

我々の役目はより大きく

永山久徳・全国旅館生活衛生同業組合連合会青年部長

業界の宿願がまた一つ叶ったことをうれしく思うとともに感動を覚えます。今回行政が示した期待に業界がこたえる上で必要なのは、日本文化を学び、表現できる能力を磨くことだと考えます。国内の宿泊客が減少しているから外客に期待するという短絡的な考えではなく、高品質で衛生的な宿泊施設を含めた日本文化そのものを観光資源として日本と世界に紹介するためのビジョンが必要となります。歴史に興味を持たない子供たち、日本酒が苦手な若者たち、地元の風習を次世代に伝えなくなった大人たちの意識を変える上でも、文化の担い手である我々の役目はより大きくなるでしょう。

観光立国を内外にアピール

滝多賀男・日本温泉協会会長

観光庁の創設は、観光立国をめざすわが国の姿勢を、より明確に国の内外にアピールする最大のニュースとなりました。観光庁設立は古くからの業界の念願であり、創設にむけてご尽力いただいた関係各位に心から御礼を申し上げます。観光立国推進基本計画のなかで、温泉は、地域の特性を生かした魅力ある観光地形成のための重要な観光資源として取り上げられ、保護と適正な利用の確保が求められています。われわれ日本温泉協会といたしましても、観光庁との連携を深めるなかで、社会のニーズを的確に捉え、観光産業の一翼を担ってまいりたいと存じます。

官民一体で真の観光立国

清水信夫・全日本シティホテル連盟会長

日本にも観光庁が誕生するにあたり、観光産業を営む私たちにとっては大変意義深く、観光立国を目指すにふさわしい年となりました。しかしながら、原油高騰から世界的な消費不況も収縮することもなく、また、期待された北京オリンピックの開催も世界的観光客増加の起爆にもならず、観光産業に深い影を投げかけています。そういう中での『観光庁』の誕生ですが、観光産業にとって新たなる雇用と産業を生み出す観光政策が一元化され、2千万人の海外からの観光客受け入れに向かって、官民一体となって取り組めば、真の観光立国となることでしょう。

教育旅行の条件整備に期待

阿部充夫・日本修学旅行協会会長

このたび、観光庁が発足されることとなり衷心よりお祝い申し上げます。観光庁の発足により、一元的な観光行政の推進と観光立国にかかわる施策が大いに進展するものと期待するところです。こと教育旅行においても、将来の観光需要の創出につながる観点から、その実施や受け入れにかかわる諸条件の整備や学校と地域とを結ぶ役割を積極的に担われることを期待したいと切に望むところです。

特性生かした観光地開発を

中西朗・全国修学旅行研究協会理事長

『観光庁』の発足を心からお慶びいたします。やっと「観光」が、国民的課題として登場いたしました。国内的には、日本のすばらしさの再発見であり、国外的には、世界の人々との共存意識の高揚です。旅は、心の潤いの泉との出会いです。訪問地と訪問者の共感・共鳴がよき思い出として未来に行き続けます。それだけに、自国の誇りを示すとともに、心をこめて接することが大切です。観光とは、一時的なイベントではなく、観光事業を継続させるためには、地域の特性を生かした観光地開発が必要です。私ども協会は、教育の立場から国際性の育成につながる「観光」を目指して努力してまいります。

観光立国の要として心強い

向山秀昭・国際観光サービスセンター会長

観光庁の発足に心よりお祝い申し上げますとともに、関係者の大変なご努力とご苦労にあらためて敬意を表します。また、観光庁が観光立国のために始動することを要として始動することをお願いしたいと思います。おめでとうございます。観光は、国際交流、地域振興、文化、教育といった様々な分野とも関わりが深く、これまで以上に分野間での協調的推進、官民が一体となった政策展開が必要と思われます。こうした中で、いまやインバウンドの振興が国を挙げての競争となっています。私どもも、外国人旅行者の受け入れを担う団体として、一層の精進努力をする所存ですので、国におかれても、これを機にさらなる取り組みの強化をされることをお願いしたいと思います。

JRグループ協定

JRグループ指定

観光庁の発足を心よりお慶び申し上げます。

JRグループ協定旅館ホテル連盟
会長　磯田　光治
JR指定休憩店連盟
会長　小野寺　邦夫
JR協定写真連盟
会長　加藤　茂

〒110−0005　東京都台東区上野7丁目1番1号　☎03(3843)6373(JRグループ協定旅館ホテル連盟)
☎03(3843)8029(JR指定休憩店連盟・JR協定写真連盟)